

グサービス)などの利用によって、誰でも情報発信・収集をすることができます。

●遠くの知り合いを通じた安否確認
被災地では電話がつながりにくくなる恐れがあります。被災地以外の知り合いに自分の状況を伝え、家族の安否確認を行うことも有効な手段です。

この場合、災害時優先電話となる公衆電話を活用しましょう。

集合場所を決めよう

家族がそろっていない時に被災した場合に、どこで集合するのかを決めておきましょう。被災時に落ち着いて家族と合流することができません。

また、無事である目印をどこかに残すだけでも安否確認はできます。家族全員で場所を決め、災害発生時、そこに無事であることのメモを残しましょう。

家族と話した内容について、書き留めて持ち歩くための用紙を掲載します。

▼家族で決めておく連絡のルール。この用紙に記入して切り取り、いつも持ち歩きましょう。

防災ありだがわ 連絡カード

私の連絡先など	名前	
	住所	
	電話	
	メール	
「171」の登録先電話番号(自宅)		
集合場所・避難場所		
連絡を取り次いでくれる人	名前	
	連絡先	
家族や安否確認を取りたい人の連絡先	名前	
	電話	
	メール	
	名前	
	電話	
	メール	
	名前	
	電話	
	メール	

防災ありだがわ 連絡カード

私の連絡先など	名前	
	住所	
	電話	
	メール	
「171」の登録先電話番号(自宅)		
集合場所・避難場所		
連絡を取り次いでくれる人	名前	
	連絡先	
家族や安否確認を取りたい人の連絡先	名前	
	電話	
	メール	
	名前	
	電話	
	メール	
	名前	
	電話	
	メール	